

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	岩肌滑落危険の救助活動中に、落下物により受傷しそうになった事案
3. 体験した事例の中心的要素	岩山にて、要救助者が既設のクライミングロープを掴みながら降りていると、恐怖により動けなくなったという岩肌滑落危険のある救助活動中、岩肌にある朽ち木（長さ約50cm、太さ約10センチ）と隊員の自己確保ロープが接触し、朽ち木が下方に落下し隊員に衝突しそうになったもの。
4. 体験した事例の原因・理由	救助活動中に、安全管理の隊員は落下物（朽ち木）の危険性を確認していたが、朽ち木であったため注意喚起で終わり、危険物の除去を実施しなかった。

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。（大丈夫だろうと思った。）
------------------	------------------------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	令和5年4月8日 午後3時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：岩山で過去にクライミング事故が多発している。
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	飛来・落下ぶつにぶつかる
7. 事例体験時の活動	救助現場活動中期
8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか	人命検索・救出
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに1, 2回程度体験している。

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

○当事者A	年齢[29]歳、勤続年数[11]年、現場経験年数[11] 年、階級[消防士長] 同様の活動 [1年に数度]、任務 []
○当事者B	年齢[46]歳、勤続年数[20]年、現場経験年数[20] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [1年に数度]、任務 []
○当事者C	年齢[24]歳、勤続年数[5]年、現場経験年数[5] 年、階級[消防士] 同様の活動 [1年に数度]、任務 []
○その他(当事者が4人以上の場合)	

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	岩肌に取り残されている要救助者へ接触するため三連はしごを登てい	
経過2	当事者C	当事者Aが登ていしている三連はしごを地上で確保していた。	
経過3	当事者B	現場安全管理員であり、落下する可能性がある朽ち木を確認後、活動隊員に周知。	
経過4	当事者A	岩肌へ乗り移り要救助者と接触後、救助用の縛帯を要救助者へ装着。	
経過5	当事者A	三連はしごへ戻る際に、自己確保用のロープが朽ち木と接触し、木が落下。	
経過6	当事者C	ロープと接触した朽ち木が落下してきて衝突しそうになった。	
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

[illegible]

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できた たまたま、事故にならなかった

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなけなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

朽ち木であり、落ちても大丈夫であろうと認識し除去しなかった。

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--

